広報 いずみざき

村づくり五原則

一、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
一、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう。
一、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

昭和59年6月1日発行　(第203号)　編集・泉崎村役場総務課　印刷・野木印刷所

○最優秀賞

悪いことしないさせない 我が家の自慢

泉崎中一年　佐藤貴幸

○優秀賞

・小学校の部

何事も相談しあう よい家庭

泉崎小五年　熊谷亜紀子

親と子の明るい対話で 住みよい社会

泉崎小六年　小林英樹

・中学校の部

家族の和 言う親よりも聞く親に

泉崎中三年　佐々木靖子

明るい子 家庭のしつけと対話から

泉崎中一年　五十嵐芳弘

最優秀賞 佐藤君

「主張」「新鮮さ」で審査

五月十九日、小中学生の考えた青少年育成村民会議「標語作品」の審査が行なわれ、最優秀賞に中学校一年生佐藤貴幸君の作品が選ばれた。

応募された作品は三百六十点、川上隆司県南行政事務所次長や本柳タイ県青少年指導員など十四名により「主張」「新鮮さ」などを重点に審査された。

〈村民のうごき〉

人口	5717人
男	2825人
女	2892人
世帯数	1233戸

6月号

米寿

昭和二十五年ごろの泉崎駅

四月二十七日泉崎駅開設八十八周年を祝う記念式典が駅前広場で開催された。

安全祈願の後、星平助泉崎駅長や海上博之村長に泉崎幼稚園生深谷康弘君と富永満智子ちゃんから花束贈呈、また村長や駅長による記念植樹、記念もちつきが行なわれ当日の駅利用者などに配られた。

祝賀会は農村環境改善センターで行なわれ、歴代駅長（二十一代以降）や当日の地権者に感謝状と記念品

〈泉崎駅のあゆみ〉と〈泉崎村のあゆみ〉

年号	事項
明20・7・16	東北本線白河・郡山間開通
明24・9・1	東北本線東京青森間全通
明29・2・25	泉崎停車場新設
明36・8・21	上野・青森間直通列車にはじめて食堂車と寝台車を連結する。
明44・1・1	泉崎停車場で公衆電報取扱開始
大5・10・	白棚鉄道営業開始
大6・6・1	上野・青森間に初めて急行列車走る。
大8・10・10	小田川村妙見より泉崎停車場間の軌道（トロッコ）が完成、石材運搬開始（大正末期まで）
大9・8・	勾配をゆるくする為久田野・泉崎間の線路を附替え、久田野トンネル完成（378m）
昭2・12・30	東京浅草・上野間に日本最初の地下鉄開通
昭21・5・26	泉崎駅「ふるさとの駅復興まつり」
昭24・6・1	国有鉄道専売公社発足

年号	事項
明22・4・	太田川村・踏瀬村・泉崎村が合併し川崎村となり北平山村・関和久村が合併し関平村となる。（人口・世帯数　12・31現在）川崎村　1、827人　291世帯　関平村　1、452人　263世帯
明22・10・3	関平尋常小学校設置
〃・10・3	川崎　〃
明24・6・	泉崎巡査駐在所設置
明35・6・28	川崎村に伝染病隔離病舎建設
明40・5・7	穴堰普通水利組合設立
大4・3・	関平村役場、関平巡査駐在所新築
大7・9・	大字泉崎に初めて電燈がつく
大9・10・1	第一回国勢調査実施（川崎村　2、396人　関平村　1、761人）
大10・6・	関和久地区に初めて電燈がつく
昭8・12・19	泉崎横穴発見
昭16・4・1	川崎、関平尋常高等小学校がそれぞれ国民学校となる。
昭29・10・1	旧川崎村と旧関平村合併泉崎村となる。（人口6、957人　1、071世帯）

四期目の村政に意欲満々

海上博之村長

任期満了にともなう村長選挙は、五月二十六日投票、即日開票が行なわれ、四期目の海上博之村政が誕生した。

当選証書の交付は、二十七日村長宅で行なわれ、野崎兵一選挙管理委員長から手渡された。

得票数

海上博之	三〇〇九票
飛知和東八	七四六票
無効	八三票

投票率　九一、三四％
（当日有権者数四、二〇二）

が贈られ、駅開設八十八周年を祝し村長の音頭で万歳三唱が行なわれ祝宴に入った。

写真上　八十八周年記念植樹をする海上村長

写真下　泉崎大橋から見た泉崎駅

昭32・4・	白棚線（白河・棚倉間）高速バス開通
昭33・10・10	東北本線、初の特急「はつかり」走る。
昭35・3・1	東北本線白河・福島間電化完成（3・30開通式）
昭38・3・	東北本線白河・郡山間複線工事完成
昭39・10・1	東海道新幹線営業開始
昭40・9・24	国鉄「みどりの窓口」開設
昭44・12・20	東北本線石川街道踏切に自動遮断機取付
昭47・11・14	東北本線川崎街道踏切。関平街道踏切に自動遮断機取付
昭57・6・23	東北新幹線開通
昭58・1・26	泉崎駅利用客増進運動協議会設立
昭58・6・13	泉崎駅無人化阻止の陳情書提出（仙台鉄道管理局長宛）
昭58・12・23	泉崎駅こ線橋完成

昭31・7・31	泉崎村役場庁舎新築（現在地）
昭35・4・1	国道4号線郡山～白河間開通
昭36・4・1	泉崎第一、第二中学校を廃止し泉崎中学校設立
昭38・3・11	泉崎中学校新校舎完成
昭40・3・26	泉崎第二小学校新校舎完成
昭43・2・〃・4・1	泉崎第一小学校新校舎完成 泉崎村幼稚園開設
昭45・9・1	泉崎村農集電話及び有線放送開始
昭50・1・31	学校給食センター「火入式」
昭52・1・5	泉崎村診療所新築
〃・3・1	〃　歯科診療所開始
昭56・8・1	泉崎村農村環境改善センター落成
昭57・2・27	老人福祉センター完成
〃・4・11	泉崎村保育所開所
昭58・3・22	泉崎東地区分譲住宅造成工事始まる（397区画）
昭58・3・21	泉崎村第二工業団地完成

婦人消防隊に表彰旗

県下消防大会で受賞

表彰される婦人消防隊員

五月十八日に行なわれた福島県下消防大会で婦人消防隊が県知事表彰・表彰旗を受賞した。昭和五十四年結成以来、主婦、婦人の立場として予防消防につとめた功績が認められ今回の受賞になった。

また、福島県消防協会長表彰・精勤賞を次の方たちが受賞した。

尾股芳美、武田英男、有賀正和、中野目喜一、小針重一、渡辺孝雄。

規律訓練もきびきびと

春季検閲

春季検閲は四月二十五日、白河市の南湖グランドで白河市と西白河郡内の消防団員が参集して行なわれた。

この検閲で泉崎村消防団員はきびきびとした消防人らしさを発揮した。入団二年目までの新入団員が木野内竹彦訓練部長の指揮のもとグランド内で分列行進や規律訓練を行ない、規律の良さにひときわ光るものがあり各町村とも感心をしていた。

はしご車乗車を体験

第一小学校では六年生全員が白河消防署のはしご車の乗車を体験した。一回に二名づつ乗車し地上高二十メートルのスリルを味わった。

はしご車は最延長三十二メートルになるが小学生のため二十メートルの延長でおさえた。

"火の用心"につとめます

少年消防クラブで入団式

少年消防クラブ入団式が各小学校で行なわれ、四年生になったばかりの第一小七十四人、第二小三十五人の新少年消防クラブ員が誕生した。四年生から六年生までのクラブ員数は、第一小百八十五人、第二小百人。各小学校とも昨年結成されたばかりだが防火に対する関心は非常に高い。

入団式では、各小学校とも全員で「私たちは火の用心につとめます。」「私たちは火災予防についての知識を深めます。」等の誓いのことばを述べた。

誓いを述べる団員たち

新白河東泉崎ニュータウン

397区画　分譲予約受付中！

予約は、役場企画開発課（024853 2111）まで！

村内の美化に老人パワー

峠寿老人クラブ（小林藤市会長）では、毎月烏峠や泉崎横穴などの清掃をしている。

五月二十三日には、クラブ員二十名で烏峠頂上の稲荷神社集辺を行なった。

今回参加した人の中には八十才になる穂積勇さんもいるが登るときには車で、帰りは歩いて降りるという全員元気はつらつ。

この清掃は、冬期間を除いて年間十回ぐらい行ない泉崎村の名所の美化につとめている。

他の老人クラブでも名所の美化に協力

踏瀬老人クラブは五本松松並木や新池周辺、太田川老人クラブではお寺や神社、原老人クラブではゴミ置場、北平山や関和久宿、瀬知房老人クラブでは第二小のまはぎが丘などの清掃を行ない村内の美化につとめている。宿舎老人クラブは第一小を清掃した。

踏瀬長峯優勝（Bクラス）まはぎが丘準優勝（Aクラス）

青少年育成ソフト

五月三日表郷村総合グランドで青少年育成ソフトボール大会が行なわれ、踏瀬長峯チーム（鈴木隆監督）がBクラス優勝、まはぎが丘チーム（円谷康夫監督）がAクラス準優勝した。

この大会は、白河警察署白河防犯協会が主催で、白河市、西白河郡内の二十二チーム（村内からは四チーム）が参加し、熱戦をくりひろげた。

スポーツを通じて交流を深め、青少年の建全育成を図ろうというもの。

▲村長杯ゲートボール大会

村からスティックをプレゼント▼

田崎哲典医師を迎える

村立病院

村立病院に五月六日付で新しく田崎哲典医師が着任し、三浦和久医師が離任した。田崎医師は、広島大学卒業後、福島県立医大第一外科医局に入局し現在に至った。

わしらはまだまだ若いぞ

村長杯ゲートボール大会

ゲートボール大会で若さを発揮し、関和久Bチームが優勝した。

第四回村長杯ゲートボール大会は、四月二十六日さつき晴れの下、十八チームの参加で行なわれた。

結果は次のとおり。

優勝▽関和久B、準優勝▽踏瀬A、三位▽宿舎A・太田川B

健康づくりにゲートゲール

ゲートボール熱は今がまさにまっ盛り。各老人会では朝五時ごろから練習をするところも多く、おじいちゃん、おばあちゃんの健康づくりにはもってこいのスポーツ。

五月四日村からゲートボールスティックを老人会にプレゼントした。老人生きがい対策事業の一環として毎年贈っているもので、ことしは南原・高根・宿舎・太田川・北平山の各老人会にプレゼントした。

国保でみてもらえないもの 制限されるもの

歯を大切に

歯はいったんむし歯になると自然治癒することはなく、人の一生にわたって歯の病気とつきあうことになります。従ってむし歯を予防することと丈夫な歯をつくることが重要です。

保育所（三才児以上）、幼稚園、小学校では、これらのことから食後の歯みがき指導を行なっている。しかし、むし歯のない子供は各小学校で一学年に一名か二名。家庭でも食後の歯みがき指導をしましょう。

ことしの村の一般会計の予算額は、十六億四千三百万円。昨年より一・三パーセントの増となった。

その使いみちについては…。

下の表でもわかるように一番大きなものは、農林水産業費。おもな事業と予算は、農業者トレーニングセンター建築工事に約一億五千六百万円、西地区ライスセンター設置補助に一億三千八百万円、集落排水処理施設建築工事に一億六百万円などで、生活環境の整備を優先した予算になっている。

ことしの村の台所は…。

〈歳入〉総額　16億4,300万円

予算額	構成比(%)	科目
5億5,000万円	33.5	地方交付税
4億4,351万7千円	27.0	県支出金
2億3,080万円	14.0	村債
2億1,215万4千円	12.9	村税
7,389万7千円	4.5	国庫支出金
3,000万円	1.8	繰入金
2,700万円	1.6	地方譲与税
2,000万円	1.2	繰越金
1,789万9千円	1.1	使用料及び手数料
1,523万円	0.9	自動車取得税交付金
1,266万円	0.8	分担金及び負担金
984万3千円	0.6	諸収入・財産収入 寄付金

〈歳出〉総額　16億4,300万円

科目	構成比(%)	予算額
農林水産業費	42.3	6億9,592万1千円
土木費	12.4	2億376万4千円
総務費	11.8	1億9,469万7千円
公債費	11.0	1億8,077万6千円
教育費	8.2	1億3,524万円
民生費	6.0	9,872万6千円
衛生費	2.9	4,702万3千円
議会費	2.6	4,198万円
消防費	2.2	3,628万6千円
商工費	0.4	634万8千円
予備費	0.1	148万3千円
労働費	0.1	75万6千円

昭和五十八年度 学校給食費 決算報告

昭和五十八年度学校給食費の決算が四月二十一日の学校給食センター運営協議会で承認された。

収支決算は次のとおり。

○収入総額　三千六百九十六万二千五百六十六円

○支出総額　三千六百九十五万六千二百二十四円

○次年度繰越金　六千三百四十二円

県職員 市町村立学校事務職員 採用候補者試験案内

福島県職員〈大学卒程度〉

○受付　六月十一日(月)から六月二十日(水)まで（郵送は六月二十日の消印有効）

○試験日（第一次試験）七月十五日(日)

○試験場　福島大学

〈短大・高校卒程度〉

○受付、九月三日(月)から九月十二日(水)まで（郵送は九月十二日の消印有効）

○試験日　十月二十一日(日)

○試験場　安積女子高

市町村立学校事務職員〈高校卒程度〉

○受付　九月三日(月)から九月十二日(水)まで（郵送は九月十二日消印有効）

○試験日　十月二十一日(日)

○試験場　安積女子高

※以上、受験案内、申込書（申込）請求先は、福島県人事委員会　〒960　福島県庁内郵便局私書箱第25号　電話〇二四五―二二―一一一一（大代表）

六月の行事

役場関係

―住民課―

一日(金)四日(月)～八日(金)結核成人病検診　十三日(水)日本脳炎予防接種（保育所入所児以外の幼児Ｓ55４２～56４１生）　十八日(月)一才児健康相談（58５１～６30生）　二十日(水)日本脳炎予防接種（第二小、中学校）

二十一日(木)同（幼稚園、第一小）

二十六日(火)同（保育所）

―中央公民館―

一日(金)舞踊教室　二日(土)ペンクラブ

三日(日)支部対抗球技大会

四日(月)英語教室、婦人学級音楽教室

五日(火)民謡教室、婦人学級手芸教室

六日(水)書道会　七日(木)青年学級

八日(金)舞踊教室

九日(土)～十一日(月)皐月展示会

九日(土)鳥峠少年教室開講式

十一日(月)英語教室

十二日(火)民謡教室、婦人学級（生花）

十三日(水)英語教室　十五日(金)舞踊教室　十六日(土)ペンクラブ臨時大会準備会、オールナイトハイク～青年学級　十七日(日)福島県川柳大会、支部対抗野球大会、峠節保存会さなぶり大会、幼稚園家庭教育学級

十八日(月)英語教室、婦人学級（音楽）

十九日(火)民謡教室　二十日(水)英語教室　二十一日(木)青年学級

二十二日(金)高砂学級、舞踊教室

二十四日(日)村長杯ソフトボール大会

鳥峠少年教室　二十五日(月)英語教室

二十六日(火)民謡教室　二十七日(水)英語教室　二十八日(木)青年学級

二十九日(金)舞踊教室

―保育所―

二日(土)奉仕作業

六日(水)おべんとうの日

七日(木)歯みがき指導

十五日(金)避難訓練　十八日(月)おそうじの日　十九日(火)園外保育、おべんとうの日、二十日誕生会

二十五日(月)～二十七日(水)身体測定

―幼稚園―

一日(金)　春季親子遠足

十二日(火)　防火ぬりえ会

十三日(水)～十五日(金)　身体測定

十七日(日)　父親保育参観

十八日(月)　代替休園日

二十二日(金)　新採用教員研修会、午前保育

二十六日(火)　お誕生会

貴重な水を大切に！

水道週間　六月一日～七日

未来社会の国民生活を語る上で無視する事の出来ないのが貴重な水需要の見通しです。生活用水、工業用水、農業用水等の用途を問わず水需要が増えると予測されます。

水は生命の源です。この大切な水も決して豊富なわけではなく、今や限りある貴重な資源となっています。もう一度、水を見直し水についての理解を深め、明るい二十一世紀の未来を築くため限りある貴重な水を大切に使うよう心がけましょう。

七月の心配ごと相談は、七月十日(火)午前十時～正午農村環境改善センターで開かれます。

分娩介助料「六万円」に

泉崎村、東村、中島村の三村で運営している母子健康センターの利用料が五月一日より変更になり次の表のようになった。

分娩介助料	1件	円 60,000
入所料	1日	1,900
給食料	1	1,200
新生児介補料	1	500
医学管理料	1	1,700
合計	10日間	113,000

峠節保存会　さなぶり大会

六月十七日(日)午前十時　泉崎村老人センター

行政相談員に　金子俊雄氏

行政管理庁では、昭和五十九年四月十五日付で、当村を担当する行政相談委員として、次の方を委嘱いたしました。

・氏名　金子俊雄

・住所　大字泉崎字桎内35

・電話番号(勤務先)二二六一八

行政相談委員は、国などの役所の仕事に対する苦情などの相談を扱っています。秘密を守りますので、お気軽にご相談下さい。

おいわい　おめでた　おくやみ

結婚おめでとうございます

新郎	新婦	住所
箭内三紀夫	泉崎字下宿五典子	十四番地の三
田崎　正男	関和久字瀬知晴美	房後五六番地
井上三喜夫	関和久字下原江身子	八番地の一

出産おめでとうございます

お子様名	父名	住所
泉崎字上狐山四五番地の四	藤島奈保子	俊博
泉崎字古宿三十四番地	佐藤　貴子	則雄
関和久字石名田四十番地	宇井　敬子	勝美
踏瀬字新池下二十九番地	鈴木　雅貴	雅一
泉崎字新宿七十番地	海上　絵里	正二
泉崎字高屋六十三番地	常盤　樹梨	敏
泉崎字下宿四十四番地	石塚　麻依	義男

謹しんでお悔み申し上げます

太田川字小林十七番地	大森　美之　九十一才